

# 記入例

令和 ××年 ×月 ×日 (宛先) 滋賀県 ○○県税事務所長	免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地 滋賀県○○市××町10	※処理事項 審査 承認 交付
	業種名 船舶(漁業)	申請者住所 滋賀県○○市××町10
	免税の番号及び氏名(名称) 使用者番号 第××-×-000×号 滋賀 太郎	
	この申請に回答する係及び氏名並びに電話番号 申請者名と異なる場合は、記入 (局番)	

## 免税証交付申請書

機械・車輛又は設備名(番号)	No. 1 ○○6AB-GT No. 2 △△6ABC-T No.												
所要数量合計 50 リットル	所要数量計算期間 ××年 4月 1日 から ××年 3月 31日 まで												
希望する販売業者名及び所在地 販売業者名 ○○石油○○給油所 店舗名(所在地) ○○市△町1-23	<table border="1"> <thead> <tr> <th>免税証の種類</th> <th>枚数</th> <th>数量</th> <th>※処理事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リットル券 100</td> <td>4</td> <td>リットル 400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>2</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	免税証の種類	枚数	数量	※処理事項	リットル券 100	4	リットル 400		50	2	100	
免税証の種類	枚数	数量	※処理事項										
リットル券 100	4	リットル 400											
50	2	100											
免税証の種類は、1L、5L、10L、18L、20L、50L、100L、200L、500L券等があります。													
免税軽油を購入する給油所の名称と所在地を記入													
前回交付を受けた免税証 計算期間 ○○年4月1日 から ○○年3月31日 まで	左のうちの使用量 期間 ○○年4月1日 から ○○年3月31日 まで												
数量(イ) リットル 400	数量(ロ) リットル 400												
前回交付を受けた免税証に記載された販売業者以外の販売業者から免税軽油の引取を行った場合の販売業者の氏名または名称 △石油××給油所	数量 リットル 10												
免税証に記載されていない販売業者から免税軽油を購入した場合に記載													

所 要 数 量 計 算 の 基 礎

最 近 の 実 績	
生 産 量	
そ の 他	<div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;">                 所要数量計算書(※県税事務所に各種業種ごとの様式をご用意しています)を添付する場合は、この欄の記入は不要です。             </div>

記 載 要 領

1. この申請書は、継続して免税事務所に免税軽油使用者
2. 「※処理事項」欄は、申請
3. 「機械、車輛又は設備名(番号のみを記載すること。ものであること。
4. 所要数量の計算の基礎にした計算書を必ず添付する。共同申請明細書を提出

次のいずれかに該当する方は、報告書の提出期限を「免税証の有効期限の翌月末日」に延長できる「特例適用者の指定」の申請ができます。(申請をしない場合は、原則どおり毎月提出が必要となります。)

- ①申請数量が年間12,000リットル以下の者
- ②国、地方公共団体等
- ③船舶の使用者で遠洋漁業を営む者

県税規則様式第17号の19

免税軽油の引取り等に係る報告書提出期限の特例適用者指定申請書

(宛先)

滋賀県 ○○県税事務所長

住所

令和 ××年 ×月 ×日  
滋賀県○○市××町10

氏名

滋賀 太郎

(法人にあつては、その名称および代表者の氏名)

電話 ( 077 ) 123 局 4567 番

滋賀県税条例第58条の12第2項の規定による指定を受けたいので、同条第3項の規定により次のとおり申請します。

免税軽油使用者証番号	滋賀県第××-×-000×号
報告対象期間	交付される免税証の有効期間と同一
免税証の交付申請数量	500 リットル